

# 24, マメ科(豆)の巨木 Leguminosae

■マメ科の巨木は以下に分類する。

- A ネムノキの巨木    B サイカチの巨木    C エンジュの巨木    D ハリエンジュの巨木  
E フジの巨木    F フジキの巨木    G デイゴの巨木(730㍎)

## 24-A ネムノキ(合歡の木)の巨木 マメ科ネムノキ属 Albizia julibrissin

※原野、川岸等に生えるが、ほとんど伐採される運命にあり、巨木になるものは稀。



◀写真 N-001 日本一のネムノキ  
うつのみや  
宇都宮中央公園のネムノキ  
栃木県宇都宮市睦町 栃木県中央公園

日本庭園にあるむつび池から昭和大池へ水が流れ出る傍に密かに立っている。何の案内もないので、幹に取り付けられた札のみが頼りである。

報告値は幹周 1.48m であるが、測定の結果幹周 M1.65m(1.3m)とやや太くなっていた。地上 4m で 2 分岐し、傍にあるコナラの枝を突き抜けて天高く聳えている見事なネムノキである。一見、日本全国を探せばあるような気がするが、残念ながら現在のところ、このネムノキを上回る情報は皆無である。

## 24-B サイカチ(皂莢)の巨木 マメ科サイカチ属 Gleditsia japonica

■サイカチの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 8m 以上の単幹樹、同等評価のサイカチの巨木。  
B 幹周おおむね 5~8m の単幹樹、同等評価サイカチの巨木。  
C B 評価以下のサイカチの巨木。

■主なサイカチの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	一里塚のサイカチ 写真 SK-001	M7.25m(1.3m 2007)	15m	秋田県大仙市豊丘字十六沢	市
B	京ノ沢のサイカチ 写真 SK-002	6.6m	15m	岩手県東磐井郡藤沢町横海京ノ沢	なし
B	霞城公園のサイカチ A 株 写真 SK-003	M6.55m(1.3m 2014)	15m	山形県山形市霞城町	なし
B	” B 株 写真 SK-004	M6.5m(分岐 1m 2014)	15m	”	なし
B	” C 株 写真 SK-005	M6.1m(1.3m 2014)	15m	”	なし
B	町井のサイカチ 写真 SK-006	6.4m	12m	岩手県花巻市東町町井 1 区	市

評価	巨木名称	幹 周	樹高	所 在 地	天然記念物 指定
B	平野家のサイカチ 写真 SK-007	6.4m	15m	青森県三戸郡階上町角柄折字平 3	町
B	北笹間のサイカチ 写真 SK-008	6.4m	14m	岩手県花巻市北笹間 1-35	市
C	狐塚のサイカチ 写真 SK-009	6.4m(0.3m)	7m	宮城県刈田郡蔵王町小村崎地区	なし
B	洲島のサイカチ 写真 SK-010	6.0m	15m	山形県東玉置郡川西町洲島	町
B	城山のサイカチ 写真 SK-011	5.95m	18m	青森県三戸郡三戸町梅内城ノ下	町
B	小里関屋のサイカチ 写真 SK-012	5.6m	15m	宮城県遠田郡桶谷町小里字不動	町
B	中之条のサイカチ 写真 SK-013	M5.31m(1.3m 2015)	12m	群馬県吾妻郡中之条町市城	県
B	高熊のサイカチ 写真 SK-014	株周 6.7m(0.5m 2009)	16m	富山県富山市八尾町高熊 134	県
B	鳥久保のサイカチ 写真 SK-015	5.4m	10m	山梨県北杜市長坂町中丸 3954	県
B	宿ノ平のサイカチ 写真 SK-016	5.9m(分岐)	15m	長野県上伊那郡辰野町宿ノ平	町
B	花岡東上のサイカチ 写真 SK-017	5.4m	13m	栃木県塩谷郡高根沢町花岡	なし
B	滋野稲荷社のサイカチ 写真 SK-018	M5.25m(1.3m 2015)	12m	長野県東御市滋野字東地乙	市
C	高山家のサイカチ 写真 SK-019	4.0m	8m	千葉県館山市北條	なし



◀写真 SK-001 日本一のサイカチ  
いちりづか  
一里塚のサイカチ

慶長6年(1603)、江戸幕府の命により、重要道路を整備して、一里塚を築くよう定められた。羽州街道はケヤキが植えられ、脇街道であるこの白岩街道にはサイカチが植えられた。この一里塚は六郷一里塚から数えて7つ目の一里塚である。推定樹齢は400年である。

地上2mで多数に分岐し、幹には特有の刺が多数発生している。根元に小さな石があり、これが一里塚の標識なのかもしれない。道路の反対側に達する程の樹冠に成長した、堂々たるサイカチである。

幹周7.9mで日本一のサイカチであった横須賀市のサイカチが伐採され、日本一が不明になっていた。2007年の調査で、このサイカチが日本一になった。

▼写真 SK-003  
かじょう  
霞城公園のサイカチ A 株

城址の土塁の上、弓道場裏手に立つ3本のサイカチの内の最大株。1.5mで主幹と側幹が立つ樹形。





▲写真 SK-002  
京ノ沢のサイカチ  
(写真・石田徹)



▲写真 SK-004  
かじょう  
霞城公園のサイカチ B 株  
1~1.5m で 5 分岐する樹形。



▲写真 SK-005  
かじょう  
霞城公園のサイカチ C 株  
2.5m で 5 分岐する樹形。



▲写真 SK-006  
町井のサイカチ  
(写真・石田徹)



▲写真 SK-007  
平野家のサイカチ  
(写真・Web 画像)



▲写真 SK-008  
北笹間のサイカチ  
(写真・Web 画像)

▼写真 SK-009  
狐塚のサイカチ  
(写真・Web 画像)



▼写真 SK-010  
すのしま  
洲島のサイカチ  
(写真・Web 画像)



▼写真 SK-011  
しろやま  
城山のサイカチ  
(写真・Web 画像)





▲写真 SK-012  
 小里関屋のサイカチ  
 (写真・Web 画像)



▲写真 SK-013  
なかのじょう  
 中之条のサイカチ  
 3m で3分岐する樹形で、地元では日  
 本一のサイカチとしている。



▲写真 SK-014  
たかくま  
 高熊のサイカチ  
 根元で3分岐する樹形である。



▲写真 SK-015  
 鳥久保のサイカチ  
 (写真・Web 画像)



▲写真 SK-016  
しゆくのたいら  
 宿ノ平のサイカチ  
 (写真・石田徹)



▲写真 SK-017  
はなおかひがし  
 花岡東上のサイカチ  
 (写真・石田徹)



◀写真 SK-018  
しげの  
 滋野稲荷社のサイカチ  
 主幹半壊、3m で2分岐す  
 る樹形。

写真 SK-019▶  
 高山家のサイカチ  
 (写真・Web 画像)



# 24-C エンジュ(槐)の巨木 マメ科クララ属 Sophora japonica

※中国原産の樹木で、巨木は育てられたものであるが、個体数は少ない。

## ■エンジュの巨木評価基準

A 幹周おおむね 8m 以上の単幹樹、同等評価のエンジュの巨木。

B 幹周おおむね 5~8m の単幹樹、同等評価のエンジュの巨木。

C B 評価以下のエンジュの巨木。

## ■主なエンジュの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	中井のエンジュ 写真 E-001	M6.1m(1.3m 2010)	12m	神奈川県足柄上郡中井町雑色郷中 226	県
B	黒槐の木 写真 E-002	M4.63m(1.3m 2015)	26m	長野県東御市島河原 154	市
C	鬼子母神のエンジュ 写真 E-003	4.4m	m	岡山県岡山市浜野	市
C	吉香公園のエンジュ 写真 E-004	3.6m	m	山口県岩国市横山 2-337-1	県



◀写真 E-001  
日本一のエンジュ  
なかい  
中井のエンジュ

中井のエンジュは、1157 年、比叡山の僧義円が行脚の折り、この地に杖を挿したものが発根し、成長した。伝説を根拠に樹齢 800 年といわれている。

雑色地内、道路より細い道を 30m 程入った雑色自治会館前に立つ。樹下に天然記念物の石碑、石仏、石塔 4 基があり、集落の雰囲気から想像できない歴史を感じさせる空間がひっそり残っている。

地上 2.5m で大きく 2 分岐し、支柱に支えながらも樹形を何とか保っている。背後にはかつて大きな幹があったようで、崩れた部分を樹脂で補修してある。おそらく、現地の解説や巨木 DB 幹周の、9.3m や 8.0m は、この部分が健在であった頃の測定値であろう。



▲写真 E-002  
くろえんじゅ  
黒槐の木

諏訪宮境内に立ち、6m で 2 分岐する。



◀写真 E-003  
おにのぼじん  
鬼子母神のエンジュ

根元で 2 分岐するが、樹勢は衰弱している。

(写真・Web 画像)

写真 E-004▶  
きっこう  
吉香公園のエンジュ

(写真・Web 画像)



# 24-D

## ハリエンジュ(針槐)の巨木

マメ科ハリエンジュ属  
Robinia pseudo-acacia

※別名ニセアカシヤ、北米原産で、明治6年(1873)津田仙がウィーン万博の帰りに持ち帰り植えたのが最初。巨木の報告例は極めて少なく、本書では紹介に留める。



◀写真 HE-001 日本一のハリエンジュ  
偕楽園のハリエンジュ  
茨城県水戸市見川 1-1251

偕楽園は日本三名園に数えられる庭園で、100種3000本の梅が植えられている事で知られる。水戸藩第九代藩主徳川斉昭によって造園された。ハリエンジュの巨木はその東門の横にシンボルのように3本並んで立っている。東門は開園当時なく、昭和に入って造られたという。その近くにどのような理由で植えられたものか、詳細はわかっていないが、樹齢から察するに、日本に渡来した初期の頃に植えられたものに違いない。白い藤のような花と、甘い香りは西洋の雰囲気を持っていたので、憧れの気持ちが強かったものだろうか。偕楽園のハリエンジュは門側の右端が最も大きく、幹周 M3.94m(1.3m 2010)で、地上3mで2分岐する。中央が幹周 M3.0m、左端が幹周 M3.3mで、地上3mで2分岐する。



▲写真 HE-002  
伐採・上諏訪中学の  
ハリエンジュ

長野県諏訪市

校門入り口近くの道路沿いの土手にあったが、上部が枯れ、危険なために2013年頃に伐採された。巨木DB幹周3.12mであったが、2本の合計周と思われる。

# 24-E

## フジ(藤)の巨木

※フジのつるは右巻で、左巻のヤマフジがある。園芸種で花序の長いノダナガフジやシロバナヤマフジ等があるが、本書ではこれらを区別しなで、総称としてフジの巨木とする。

■フジの巨木は以下に分類する。

- E-A 天然フジの巨木
- E-B 仕立てフジの巨木

# 24-E-A

## 天然フジの巨木

■天然フジの巨木評価基準

- A 幹周おおむね4m以上の単幹樹、同等評価の天然フジの巨木。
- B 幹周おおむね2~4mの単幹樹、同等評価の天然フジの巨木。
- C B評価以下の天然フジの巨木

■主な天然フジの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
枯死	常椿寺の大フジ 写真 TH-001	株周 M4.2m(0.5m 1987)	20m	石川県鳳至郡能都町宇出津	県
B	滝前不動のフジ 写真 TH-002	3.5m	28m	宮城県柴田郡川崎町大字支倉字滝前	国
B	須佐神社のフジ 写真 TH-003	3.3m	25m	広島県三次市甲奴町小童	県

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	寺下観音のヤマフジ 写真 TH-004	2.0m	25m	青森県三戸郡階上町	なし
C	花水のフジ 写真 TH-005	1.9m	20m	山梨県北杜市白州町花水	市
C	長澤神社のフジ 写真 TH-006	1.8m	25m	滋賀県野洲市比江 765	なし
C	五竜のフジ(5株) 写真 TH-007	1.4~1.7m	16m	岩手県滝沢市湯舟町 34	村
C	奥州の蛇藤 写真 TH-008	1.4m	25m	宮城県柴田郡村田町	町
C	田子の藤 写真 TH-009	1.25m	27m	富山県水見市下田子	市



◀写真 TH-001  
枯死・常椿寺の大フジ

寺の背後の山にあったもので、太い樹木の上を這うように伸び、巨大な龍を想像させるような姿をしていた。2000年頃には枯死したようだ。

写真 TH-002▶  
滝前不動のフジ  
(写真・Web画像)



◀写真 TH-003  
須佐神社のフジ  
(写真・石田徹)



▲写真 TH-004  
寺下観音のフジ  
(写真・石田徹)



▲写真 TH-005  
花水のフジ  
(写真・石田徹)



▲写真 TH-006  
長澤神社のフジ  
(写真・Web画像)

▼写真 TH-007  
五竜のフジ(最大株)  
(写真・Web画像)



▼写真 TH-008  
奥州の蛇藤  
(写真・Web画像)



▼写真 TH-009  
田子の藤  
(写真・Web画像)



## 24-E-B 仕立てフジの巨木

※フジは好まれて神社仏閣の境内等に植えられてきた。巨木となったものが各地に存在するが、多くは根元分岐幹を束ね、藤棚につるを這わせて仕立てる。樹冠の占有面積、花序の大きさや美しさ等が評価の対象になって、巨木としての評価基準を客観的に出す事が困難な樹種である。よって、本書では巨木の評価基準を見送り、紹介するに留める。

### ■主な仕立てフジの巨木

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
	牛島のフジ (国特株) 写真 SH-001	根周 9.2m	2.4m	埼玉県春日部市牛島 藤花園	国特
	牛島のフジ B株	不明	2.4m	〃	なし
	牛島のフジ C株	不明	2.4m	〃	なし
	足利のノダナガフジ A株 写真 SH-002	5.15m	2.5m	栃木県足利市迫間町 607	市
	〃 B株	4.05m	2.5m	〃	市
	〃 C株	3.95m	2.5m	〃	市
	足利の八重黒瀧藤 写真 SH-003	2.5m	2.5m	〃	市
	八王子の白藤 写真 SH-004	株周 5.3m	3.0m	新潟県燕市八王子字前畑	県
	將軍藤 写真 SH-005	株周 3.0m(0.5m)	2.5m	福岡県小郡市福童 555 大中臣神社	県
	高島城のフジ 写真 SH-006	株周 3.0m	2.5m	長野県諏訪市高島 1 丁目	市
	迎接の藤 写真 SH-007	株周 2.7m(0.5m)	2.5m	福岡県田川郡福智町弁城定禪寺	県
	竹鼻別院の藤 写真 SH-008	株周 2.8m	2.4m	岐阜県羽島市竹鼻町	県
	久伊豆神社のフジ 写真 SH-009	株周 2m	2.7m	埼玉県越谷市越谷 1700	県
	小摺戸の大藤 写真 SH-010	株周 2.6m	不明	富山県入善町小摺戸 神明社	県
	熊野の長藤 写真 SH-011	株周 2.4m	2.5m	静岡県磐田市池田字宿 行興寺	国
	反町薬師のフジ 写真 SH-012	株周 2.5m	2.5m	群馬県太田市新田反町町	なし
	舞鶴公園のフジ 写真 SH-013	株周 1.2m	3m	佐賀県唐津市東城内	市
	才の神の藤 写真 SH-014	株周 1.8m	3m	京都府福知山市大江町南有路	府
衰退	藤島のフジ	不明	不明	岩手県二戸郡一戸町小鳥谷 仁昌寺	国





▲写真 SH-001  
うしじま  
**牛島のフジ**(国指定特別天然記念物株)  
 園内に大きなフジがあと2株ある。  
 (写真・Web 画像)



▲写真 SH-002  
あしかが  
**足利のノダナガフジ A 株**  
 大きな株が他に2株ある。  
 (写真・Web 画像)



▲写真 SH-003  
あしかが  
**足利の八重黒龍藤**  
 (写真・Web 画像)



▲写真 SH-004  
**八王子の白藤**  
 (写真・Web 画像)



▲写真 SH-005  
しょうぐんふじ  
**將軍藤**



▲写真 SH-006  
たかしまじょう  
**高島城のフジ**  
 (写真・石田徹)



▲写真 SH-007  
こうじょう  
**迎接の藤**



▲写真 SH-008  
たけはなべついでん  
**竹鼻別院の藤**  
 (写真・石田徹)



▲写真 SH-009  
ひさいず  
**久伊豆神社のフジ**  
 (写真・Web 画像)



◀写真 SH-010  
こすりど  
**小摺戸の大藤**  
 (写真・Web 画像)

写真 SH-011▶  
ゆや  
**熊野の長藤**  
 (写真・Web 画像)





▲写真 SH-012  
そりまちやくし  
反町薬師のフジ  
(写真・石田徹)



▲写真 SH-013  
まいづる  
舞鶴公園のフジ  
(写真・石田徹)



▲写真 SH-014  
才の神の藤  
(写真・Web 画像)

## 24-F フジキ(藤木)の巨木

※珍木の部類である。「華巖山のフジキ」は未調査であるが、日本一の可能性が高い。

### ■フジキの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 6m 以上の単幹樹、同等評価のフジキの巨木。
- B 幹周おおむね 3~6m の単幹樹、同等評価のフジキの巨木。
- C B 評価以下のフジキの巨木。

### ■主なフジキの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	華巖山のフジキ 写真 F-001	5.9m(山側 1.3m 2015)	不明	神奈川県厚木市	なし
B	立岩神社のフジキ 写真 F-002	4.9m	18m	兵庫県神崎郡神河町宮野	町
B	高座神社のフジキ 写真 F-003	4.7m	20m	兵庫県丹波市山南町谷川	県
B	中郷小学校のフジキ 写真 F-004	4.6m	22m	新潟県上越市中郷区二本木	なし
B	三輪神社のフジキ 写真 F-005	4.2m	34m	山梨県都留市大野 1974	なし
B	行政のフジキ 写真 F-006	株周 5.3m	23m	岡山県苫田郡鏡野町富東谷	町
B	大野田のフジキ 写真 F-007	M3.75m(1.3m 2014)	26m	長野県松本市安曇大野田	県



◀写真 F-001  
けごんやま  
華巖山のフジキ  
2015 年に確認された  
もので、詳細な位置等は  
不明。  
(写真・Web 画像)

写真 F-002▶  
たていわ  
立岩神社のフジキ  
幹周 3m 程のフジキが  
もう一本ある。  
(写真・Web 画像)





▲写真 F-003  
たかくら  
**高座神社のフジキ**  
 (写真・谷田元彦)



▲写真 F-004  
**中郷小学校のフジキ**  
 (写真・石田徹)



▲写真 F-005  
**三輪神社のフジキ**  
 (写真・Web 画像)



◀写真 F-006  
ゆきまさ  
**行政のフジキ**  
 「重定のフジキ」とも。  
 根元で2分岐する樹形。  
 (写真・Web 画像)

写真 F-007▶  
おおのだ  
**大野田のフジキ**  
 伊勢二ノ宮神社拝殿横に立つ。



## 25, センダン科の巨木 Meliaceae

### 25-A センダン(梅檀)の巨木 センダン科センダン属 Melia azcdarach var. subtripinnata

※センダンの木はかつてインド原産の香木である白檀と誤認された。「梅檀は双葉より芳し」のことわざから、小学校の校庭等に好まれて植えられる事になった。ことわざの梅檀は白檀の事であるが、そのままセンダンと勘違いされたという。白檀は心地よい香りを発し、害虫を寄せ付けないことから、悪に染まらず、よい性質をすくすく伸ばしてほしいとの思いであろうか。巨木となるものは、校庭やその跡地に多い。

#### ■センダンの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 7m 以上の単幹樹、同等評価のセンダンの巨木。
- B 幹周おおむね 5~7m の単幹樹、同等評価のセンダンの巨木。
- C B 評価以下のセンダンの巨木。